

あしっ育成だより

15

立教 183 年 10 月 26 日発行
編集 / 天理教芦津大教会育成部

特集 できることから始めよう

各会の取り組み——婦人会、青年会、少年会、学生会



《親のことば》

私たちの信ずるこの道は、教祖が教えて下さった教えを素直に信じ、身に行って通ることが第一の勤めなのでありますから、信仰にだんだんと主体性を持てるようになっていかなければならないのであります。そして、皆さんの日々の言動が、お道の学生らしいと周りの人から認めてもらえるように、成人への努力を積み重ねることを心掛けて頂きたいと思います。

(立教 173 年「春の学生おぢばがえり」における真柱様お言葉より)

できることから始めよう ―各会の取り組み

新型コロナウイルスの感染症が拡大し始めて、はや 8 カ月以上が経とうとしています。ご本部では月次祭の参拝者の制限、各会の総会やこどもおぢばがえり・学修も中止になるなど大きな影響がありました。大教会でも祭典の参拝者の制限や、行事などを自粛していましたが、ようやく夏が過ぎたあたりからコロナも少し治まりを見せつつあります。

そうした中、「今、できる活動はないか」と模索しながら、各会が独自の動きを再開しています。今号では、お道の人材育成には欠かせない、各会の現在の取り組みにスポットを当ててみました。

＼目指せ！あらきとうりよう／

青年会芦津分会

特別ひのきしん隊

青年会本部が毎月実施している「おやさとふしん青年会ひのきしん隊」は、毎月 1 日に入隊し、24 日の解隊まで百母屋にて合宿生活を行い、日中は親里でのひのきしんに、夜は宿舎で修練活動を行い、ぢばへの伏せ込みに励んでいます。

しかし、新型コロナウイルスに関する状況を鑑みて、今年 3 月隊から 12 月隊の開催が中止となり、青年会員のおぢばへの伏せ込みが叶わなくなりました。

それでも、おぢばでは多くの人手が必要な作業がいくつもあります。そこで、6 月から「特別ひのきしん隊」が編成され、本隊とは違った形でひのきしんに取り組んでいます。感染防止対策により、6 月は奈良県在住の青年会員、7



月より、本来入隊を予定していた分会の近畿圏内在住者に限定して隊を編成。また、隊員は百母屋での合宿生活ではなく、各詰所で寝泊まりし、朝から夕方までそれぞれの現場でひのきしんを行うことになりました。

御臨席総会に向けて伏せ込み

芦津分会（井筒敏成委員長）も、本年 9 月隊に入隊を予定していたことから、9 月 7 日～12 日、14 日～19 日の期間、特別ひのきしん隊に参加。この期間中であれば、それぞれの都合の良い日に参加できるようになっていたため、1 日のみの参加も可能でした。井筒委員長



旧本芝詰所の解体作業

をはじめ、今川聖一、榎康紀、田中敏行、上野洵造、久米義彦、松林英也、北島泰仁、今川保、鍋野孝、吉田裕樹、梶川和人が入隊。井筒委員長は「コロナの影響で思うように活動ができない中ですが、2年後に青年会長様が御臨席くださる総会開催に向け、まずはおぢばの理を頂戴することが大切と思い入隊しました。ひのきしんをしている中で、今自分が何事もなく無難な日々を過ごさせていただいている有り難さを改めて実感しました。また、同世代の方や年上世代の方といろいろな話をさせてもらって、自分が成長するきっかけを頂きました」と感想を語

ります。ひのきしん内容は、大裏での農作業、旧本芝詰所の解体作業などで、おぢばでのひのきしんができる喜びを感じながら、勇んで汗を流しました。

常時の後継者講習会

ひのきしん隊は発足初期から修練活動にも力を注いでおり、二代真柱様がおふでさき講義にお出ましくなさるなど、若者にとっての貴重な求道の間でもあります。そうしたことからひのきしん隊は、あらきとうりようを育てる育成の間として「常時の後継者講習会」とも呼ばれ、毎年多くの若者が入隊しているのです。



神殿北側にある大裏での農作業

次世代へ道を伝えるために ―婦人会芦津支部でねりあい

天理教婦人会は、今年創立 110 周年を迎えました。婦人会芦津支部（井筒年子支部長）は、この 3 年間、委員部での例会実施と身近なおたすけの実行を芯に活動を進めてきました。

4月 19 日に予定されていた記念総会は中止となりましたが、『みちのだい』に掲載された婦人会長様のお言葉を元に親の思いに添い切らせていただこうと、9 月には直属委員部長がねりあいを実施しました。

このねりあいは、婦人会本部より配布されたシートを元に、今の自分を見つめることと、それぞれの教会や家の信仰の元一日を改めて振り返り今後の成人につなげていこうというものでした。

参加した委員部長は、まず自らの信仰の元一日を発表した上で、次の世代へどのようにこの道を伝えていくかについて、活発に意見交換を行いました。

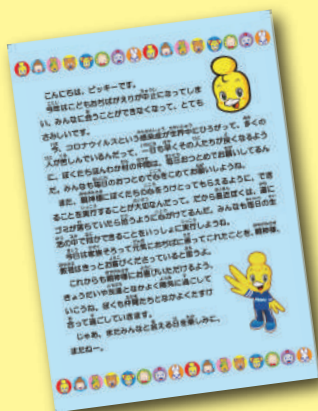
親子で信仰の喜びを深めよう ～コロナ禍だからこそ～

少年会芦津団「家族でのおちばがえり」



今年の夏は「こどもおちばがえり」が中止となり、ご本部も大型の団参は控え、少人数や家族単位でのおちばがえりを推奨されました。

少年会芦津団（加世田洋団長）は、一人でも多くの子供たちが、休みを利用して元気に家族でおちばがえりする姿を親神様、教祖にご覧いただこうと、8月1日から31日まで「家族でのおちばがえり」を実施。家族でおちばがえりをし、詰所で帰参受付をした家族の少年会員には、大教会長様からのおみやげと、ピッキー・リボンからのメッセージを手渡しました。



加世田団長は、「今回は夏休みを利用して、親子でおちばに参拝しようと呼びかけました。まだ遠方からの帰参は難しく、近畿圏の親子が中

心でしたが、今後もコロナ禍でできる縦の伝道を模索していきたいと思います」と話しました。

帰参した育成会員は、「こどもおちばがえりが中止になったことは残念でしたが、本部神殿では、子供たちを連れておちば帰りできたことを、親神様、教祖にお礼申し上げました。子供たちは、おみやげとメッセージをもらうと、『また来ようね』ととても喜んでいました」と話してくれました。



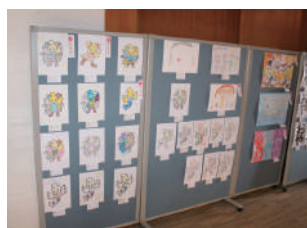
「家族でのおちばがえり」を実施したこの1カ月間で、少年会員56名、育成会員46名、計102名の帰参報告がありました。

現在のこうした状況下で、育成会員として、親子で信仰の喜びを深めるために何ができるのかをお互いが心に置いて、日々通らせていただきたいと思います。

お供え作品展 開催

今春、「第50回記念少年会芦津団総会」が中止となりましたが、総会は開催できなくても、親神様、教祖に日頃の活動の成果をご覧いただこうと、期間を7月21日まで延長して「お供え作品」を募集し、書道15点、絵画・工作27点の合わせて42点が集まりました。

7月の大教会月次祭でお供え作品名簿が神前にお供えされ、作品は7月22日～23日、8月22日～23日の計4日間、大教会神殿南側廊下に展示されました。いずれも子供たちの思いがこもった作品で、それぞれの部で大教会長賞、団長賞が贈られました。また、提出された全員に、芦津団より参加賞が贈られました。





学生参拝デー スタート！

月に一度みんなでおちばに参拝しよう



まずは参拝から

芦津学生会（水田善幸委員長）は、10月11日、本部神殿で初めての「学生参拝デー」を実施しました。

現在、管内学校の「朝の定刻参拝」が実施できない状況にあり、神殿から足が遠のいてしまっている学生もいます。9月に入り、政府からイベント等の人の集まりについての人数規制の緩和が発表されるなど、ようやくコロナウイルスの影響も落ち着きつつあり、学生会の活動を再開するにあたって、「まずはおちばに参拝して、神様の御守護に感謝するところから始めよう」との思いから、この「学生参拝デー」が始まりました。

おちばで学ぶ有り難さ

台風14号が通過した直後の曇り空のもと、午前11時に本部・北礼拝場に学生たちが集合しました。最初に木村真次・学担委員長が挨拶。「おちばに帰りたくても帰れない人が大勢いる中、おちばで学ぶ有り難さを感じてほしい。その上で、自分の時間を割いて神殿に参拝することは、とても大切なこと。月に一度でも、おちばで学ぶ

学生が集まってみんなで参拝しよう」と呼びかけました。

全員でおつとめを勤め、教祖殿、祖霊殿で参拝の後、西回廊北詰めから回廊拭きひのきしんを行いました。

今期初めての学生会としての活動で、久しぶりに顔を合わせた学生たちは、各々の近況を語り合うなど、終始和やかな雰囲気でした。参加者は、大学生10名、高校生5名、少年会員8名、学担委員他11名の計34名でした。



手作りマスク 私たちにできること—学担の取り組み

芦津学生担当委員会は、活動ができない期間に布マスクを作成し、学生に配布しました。マスクは5月から学担委員とその家族が約80枚を作成。オリジナルロゴをプリントした後、6月末に各高校寮で学生一人ひとりに手渡しました。マスクが品薄だった時期でもあり、学生たちにとても喜んでもらえました(*^_^*)





毎月 1 回開催

学生参拝デー

学生会

- 日時 11月 1日(日) 午前10時
※午後から詰所で新高校生の歓迎会を開催
- 12月13日(日) 午前11時
- 1月10日(日) 午前11時
※午後から詰所で高校卒業生の送別会を開催
- 場所 北礼拝場集合(昇殿したところに学担委員が待機しています)
- 内容 おつとめ ひのきしん
- 対象 おぢば周辺在住の学生
寮などでもお誘い合わせの上、ご参加ください。
一人でも多くの学生の参加をお待ちしています。

できることから始めよう!!

あしつ学生会 月イチ開催

学生参拝デー

月に一度、みんなで参拝しよう!!

第1回: 10月11日(日)
第2回: 11月1日(日)
(午後から新高校生の歓迎会)
第3回: 12月13日(日)
第4回: 1月10日(日)
(午後から高校卒業生の送別会)

(毎月のタイムスケジュール)
11:00 本部北礼拝場集合
おつとめ
回廊ひのきしん



8月大教会月次祭で 子供たちにお下がり配布

立教 180 年より、「夏休みを利用して、8月の大教会月次祭に親子が揃って参拝しよう」という提唱から始まった「夏休みあしつ親子参拝」。例年は、かき氷のサービスや、親子みんなで直会に参加するなど、家族が揃って大教会月次祭に参拝する日なのですが、今年は大人数が集まる行事としては開催できませんでした。

しかし、親子が揃って教会に参拝することは、道を次代に伝えるための大切な角目です。昨年までのような「親子参拝」ではありませんでしたが、大教会近隣の教会長・ようぼく子弟が月次祭に参拝しました。子供たちには祭典後、この日のために用意されたお菓子のお下がりが配られました。



できることから始めよう 各会の取り組み——婦人会、青年会、少年会、学生会